

# ちば水土里支援会報

NO. 33

特定非営利活動法人  
ちば水土里支援パートナー



第30回「美しい農村環境写真コンテスト」  
ちば水土里支援パートナー賞受賞作品『落花ポッチ作り』

## — 目次 —

第15回通常総会開催される	1
理事長挨拶	2
令和6年度役員名簿	2
事務局員名簿	3
第30回「美しい農村環境写真コンテスト」	3
【寄稿 1】会社紹介	4
(株) 国際創建設コンサルタント 技師長 松田 晴夫	
【寄稿 2】3回目の四国八十八カ所お遍路の旅	5
(株) 葵エンジニアリング 技術顧問 山下 一士	

## 第15回通常総会開催される

第15回通常総会が、令和6年6月27日(木)午後3時から千葉市美浜区新港の土地改良会館で、会員総数127会員のところ、出席114会員(本人出席33会員、書面議決提出81会員、委任状提出者無し)で開催されました。

まず、神崎事務局員の司会で開会し、会員の出席状況の報告があったのち松田副理事長の開会宣言、杉野理事長の挨拶がありました。また、議長には司会者が出席者に諮り、小橋純会員が満場一致で選任されました。議事に先立ち議長より議事録署名人2名を選任したい旨の発言があり、河野義雄及び高橋速雄の両会員を指名しました。

続いて議事に入り

議案第1号 令和5年度事業報告並びに決算について

議案第2号 令和6年度事業計画について

議案第3号 令和6年度の会費及び納入方法について

議案第4号 令和6年度予算について

議案第5号 令和6年度一時借入金限度額並びに借入れ方法について

議案第6号 令和6年度会費等の積立金並びに余裕金の預入先について

議案第7号 役員の選任について

の7議案が上程されました。第1号議案から第6号議案までは、事務局からの議案説明のあと質疑応答があり6議案とも賛成多数で可決されました。

また、第7号議案については、兼坂事務局長から説明があり、議長の指示により事務局案を諮ったところ、満場一致をもって「杉野理事ほか、理事11名、監事3名」の役員全員が選任されました。



【通常総会の様子】

続いて、議長から定款の規定により理事長、副理事長は理事の互選とすることとなっていることから、「理事会」を開催するため議事を暫時休憩する旨の発言があり、別室で「理事会」が開催されました。その結果、理事長に杉野宏、副理事長に綱康二郎、松田晴夫の2名を選任されたことを事務局から報告されました。

以上で本会議に付議された議案は全て終了した旨の議長発言があった後、議事を終了しました。最後に綱副理事長が閉会を宣言し午後4時10分総会を終了しました。

### 杉野理事長挨拶

令和6年度 第15回通常総会にご出席をいただき感謝申し上げます。

NPOちば水土里支援パートナーも15年目を迎え、会員の高齢化も進み、今後数年が頑張りどころかと思いますので、会員の皆様のご協力をお願いします。

さて、本日の総会は、令和5年度の事業報告並びに決算についてのほか、令和6年度事業計画、予算などをご審議していただきます。

後程説明がありますが、昨年は「農業水利施設物価高騰対策支援事業」等の電気料金高騰対策のほか、緊急的に多面的機能支払交付金事業の現場確認業務の一部を千葉土連から受託しました。この業務は当初の業務計画には計上していませんでしたが、業務の内容について検討したところ、当NPOの設立趣旨にマッチしており市町村・土地改良区支援にもつながると思い、契約を締結し実施しましたので、ご理解をよろしく願いするとともに、慎重なるご審議をお願いいたします。

また、10月22日(火)に第46回全国土地改良大会 千葉大会が幕張メッセイベントホールで開催されます。ちば水土里支援パートナーにも参加案内がありましたのでお知らせします。

詳細は別添のパンフに記載のとおりですが、参加費5,000円、弁当代2,000円となっています。せっかくの機会ですので、NPOも参加して盛り上げていければと考えていますので、ご希望の方は事務局にお問い合わせください。

### 令和6年度 役員名簿

役職	氏名	選出区域・団体	役職	氏名	選出区域・団体
理事長	杉野 宏	千葉・市原	理事	及川 忠信	夷隅
副理事長	綱 康次郎	長生	理事	加藤 貞之	安房
副理事長	松田 晴夫	君津	理事	近藤 裕之	県外
理事	石川 文彦	東葛飾	理事	滝口 広明	前両総土地改良区
理事	兼坂 達夫	印旛	監事	宮内 清	借当川沿岸土地改良区
理事	柿木 泉一	香取	監事	高橋 修	鹿島川土地改良区
理事	伊藤 秀光	海匝	監事	富山 和代	東葛北部土地改良区
理事	宇井 哲也	山武	顧問	相川 文明	前理事長

## 事務局員名簿

役職	氏名	選出区域・団体	役職	氏名	選出区域・団体
事務局長	兼坂 達夫	印旛	事務局	豊川 忠幸	千葉・市原
事務局	近藤 裕之	県外	事務局	薄井 厚	千葉・市原
事務局	神崎 英一	印旛	事務局	山下 一士	山武
事務局	飯田 厚	多面的機能(協)	事務局	石井 和	君津
事務局	田村 利夫	千葉・市原			

### 第30回「美しい農村環境写真コンテスト」

「美しい農村環境写真コンテスト」は、千葉県内の農村の緑豊かな自然景観や農村生活の様子など「誰もが住んでみたいと思う農村環境」をテーマに、千葉県土地改良事業団体連合会が主催者となり毎年実施しているもので、本年度で30回となります。

当法人としては、この「コンテスト」の開催主旨に賛同し、平成23年度から「ちば水土里支援パートナー賞」を設け、当写真コンテストを側面から応援しているところです。

本年度の応募数は120作品あり、審査会は6月6日(木)に、情報誌「水土里ネットちば」編集委員(県耕地課長、農地・農村振興課長、各農業事務所、県土連副会長)、当NPO法人杉野理事長等20名の審査委員で行われました。

審査の結果、「ちば水土里支援パートナー賞」は八街市の下谷一成さんの『落花ポッチ作り』が選ばれ(表紙写真)、同時に「千葉県知事賞」等の各賞が決定し、表彰式は7月30日(火)に千葉市の「きぼーるアトリウム」において行われ、7月29日から5日の間、入選・佳作など合わせて70点の作品が展示されました。



【作品展示の様子】

## 会社紹介

(株)国際創建コンサルタント 技師長 松田晴夫

県を退職して7年が過ぎ、株式会社国際創建コンサルタントに再就職して8年目を迎えています。本誌をお借りして弊社の紹介をさせていただきます。

株国際創建コンサルタントは、平成19年に創業した比較的新しい設計コンサルタントです。その前身は国際航業(株)千葉県支店の土地改良部門です。国際航業千葉県支店は土地改良事業の調査計画、設計に特化していて、私が県庁に在職していたころの記憶では、昭和50年代初期には千葉県の土地改良事業計画や実施設計を数多く受注していたと思います。その後会社の組織改編に伴い土地改良部門が廃止されました。弊社は当時の国際航業の技術者や協力会社の技術者が集まり国際航業千葉支店の土地改良部門の受け皿と合わせて一般土木部門を持った設計コンサルタントとして創業を開始しました。

創業当初は、国際航業時代の実績は豊富でも国際創建としての実績はないことから受注に苦労したと聞いています。

過去の受注記録を見ますと土地改良部門においては、千葉県からの受注実績が少ないため山梨県から調査計画の仕事を受けていました。これまで全体受注額の7割程度が土地改良部門、3割程度が一般土木部門でありましたが、近年は年々一般土木部門の受注割合が大きくなっており、土地改良部門と一般土木部門の受注割合が令和4年度4：6、令和5年度3：7となっています。

弊社は千葉県に特化した設計コンサルタントですので受注先の大半は土地改良部門も一般土木部門も県の出先事務所で一部市町村、土地改良区及び民間企業からの受注を受けています。民間企業からは主に一般土木の道路関係の測量設計業務の受注で年々受注額が増加傾向にあります。

逆に土地改良部門の受注額が減少していく理由には、いくつか原因が考えられますがこれについては後ほど記述することとして弊社の実績についてもう少し詳細に紹介させていただきます。

土地改良部門においては、県営かんがい排水事業の埜原地区、両総多古支線、南条支線、茂原西部地区、香取市東部地区、特定農業用管水路等特別対策事業の香北第3地区等の調査計画、実施設計を行いました。

実施設計に限ると県営かんがい排水事業小糸川地区、基幹水利施設ストックマネジメント事業堀川地区、湛水防除事業南白亀地区等の設計に携わってきました。

特にほ場整備事業に関する実績が多く印旛農業事務所管内の桑納川地区、海匠農業事務所管内の春海地区、椿海地区、飯岡西部地区、豊和地区、香取農業事務所管内の堀之内地区、山武農業事務所管内の山辺地区、夷隅農業事務所管内の御宿地区、名木木戸地区、大森地区、桑田地区、君津農業事務所管内の浮戸川第三地区、安房農業事務所管内の北小町地区の調査計画、実施設計を実施しています。

調査計画に関わり現在事業実施待ちの地区としては、香取農業事務所管内の黒部川左岸第三地区、君津農業事務所管内の大鳥居地区があります。

また現在調査計画中の地区として香取農業事務所管内の川頭・布野地区及び井戸山・台作地区、山武農業事務所管内の島地区があります。

一般土木部門においては、各土木事務所または市町村土木部門からの道路設計業務が多く、特に計画路線内に農業用排水施設が絡む場合の設計は土地改良部門を持つ弊社の強みとなっています。

弊社が扱う業務箇所は、県内が圧倒的に多いのですが近年は神津島村役場とのつながりがあり毎年道路部門の設計を受託しています。私は打合せに立ち会ったことはありませんが、担当者は調布の飛行場から小型飛行機で出張しています。夏は観光客で宿が取れないため時期を外して打合せに行っています。

本来ならば設計にかかわった施設の写真等を貼り付けたいのですが、国営事業に参入している大手の設計コンサルタントと違い弊社に見栄えのする施設の写真が少ないことから割愛します。

次に、私が民間の設計コンサルタントに再就職して感じていることについて申し述べたいと思います。第一は農業土木技術者不足の問題です。

弊社に再就職した当初は私より年上の技術者たちが第一線で働いていて、長年積み重ねた経験をベースに業務を遂行していましたがその方たちも70歳を迎えるとリタイアしていき新たな技術者の補充に苦慮しています。

大学に農業土木の専門講座が無くなり農業高校も普通高校化するなど農業土木技術者の卵が減少し弊社に限らず全国的に農業土木技術者不足になっている感があります。

第二は、ほ場整備事業の調査計画から工事の着工までに相当な時間がかかっていることです。

地元の合意形成や関係機関との協議を進めながら事業計画をするため計画作成に最低3年はかかります。その後県の審査会、国のヒヤリングに2年、法手続きに1年近く、地区界測量、換地計画原案の作成で1年かかると考えると事業実施のための実施設計前に最短で7年近くかかることになります。

その後実施設計をして工事着工して完成するまで7年程度がかかるとすると、最終的には整備された農地に一時利用指定を受けて担い手農家が耕作できるまで最短の地区で12年から15年かかるものと思われます。

つまり60歳代後半の農家が土地改良事業を発意し整備された農地を耕せるころには80歳代に差し掛かってしまいます。

農家の高齢化、農家人口の減少が急速に進んでいる中で1年でも早く整備を進めていくにはどうすればいいかを真剣に考える必要があると思います。

最後に、食料安全保障に対する取り組みが甘いと感じられることです。

戦後集中的に農業基盤整備事業が進められ、近年は水利施設の更新対策や長寿命化対策、面的には再整備事業が行われていますが、農業就業人口の減少に歯止めがかからず、食料自給率も40%程度で推移したまま向上の兆しが見えません。個々のケースでは基盤整備が地域の農業振興に寄与してはいるものの全体的には国民の生命に係わる産業である農業が後退していく歯止めとなっていないのが現状です。

気候変動による干ばつや紛争による輸送停止で海外からの輸入が停止することも十分に考えられ、麦、大豆及び飼料用作物に対する所得補償、米価水準の向上策など基盤整備とは異なる部門の対策ですが食料自給率を向上させることに全力を挙げて取り組むべきと考えています。

以上、会社の紹介より後半の部分の方が重くなってしまいましたが貴重な誌面をいただきありがとうございます。今後のNPOちば水土里支援パートナーの益々のご発展をご祈念申し上げます。

## 【寄稿 2】

### 3回目の四国八十八カ所お遍路の旅

(株) 葵エンジニアリング 技術顧問 山下一士

#### 1. はじめに

令和6年4月24日から5月7日までの13泊14日の日程で、3回目の四国八十八カ所お遍路の旅へ行ってきました。行き帰りに淡路島と琵琶湖近くに宿泊したので、四国での所要日数は11泊12日でした。足は、我が愛車のヤリスクロスです。

千葉の自宅を出発し帰宅するまでの総走行距離約3,000km、四国内の走行距離1,400kmの長旅でした。通常、歩き遍路で50~60日、自転車遍路で約20日かかると言われていますが、自動車でも12日程度かかります。

事前準備として、札所間の移動距離を測り、宿泊場所を手配して出掛けました。

『四国遍路は、とにかく早出早仕舞い』の原則を守り、綿密かつ余裕を持った行程を決めておきました。

四国遍路の歴史背景や現地で見聞きしたこと、印象に残ったことを紹介させていただきます。



【愛車ヤリスクロスとお遍路さん：50番 繁多寺】

## 2. 四国遍路とは

四国遍路の「遍路」は、元々は「辺路・辺地(へじ・へち)」という「海辺の道」を示す言葉で、海沿いを歩く修行の道を意味していました。熊野古道も同じような意味合いです。

仏教伝来以前の昔より、四国には山岳信仰が存在し、既に山伏などによる修行が行われていました。平安時代以降、若き弘法大師空海が修行した土地として注目されるようになると、弘法大師信仰の広まりとともに、僧侶たちの間で四国での修行がひとつのステータスとなっていきました。

平安時代末期の『梁塵秘抄』に収められた詩歌や『今昔物語集』にも僧侶が四国の海辺を巡回する姿が記されており、四国の海岸部を修行のために廻り歩く「四国辺路」のスタイルが、すでにこの頃には出来上がったとみられています。

弘法大師信仰が民衆の間に広がっていった中世末から近世初頭にかけて、今度は僧侶による「四国辺路」から民衆が行う「四国遍路」への世俗化が始まります。

室町時代にも僧侶以外の旅人が四国の霊場を訪ねていた記録が残っていますが、本格的に一般庶民による四国霊場巡りが始まったのは江戸時代のことです。四国霊場の巡り方や体験記などが綴られた道中記が出版されるようになり、修行ではなく巡礼としての四国遍路が形成されていきました。

徳島県(阿波国・発心の道場)から高知県(土佐国・修行の道場)、愛媛県(伊予国・菩提の道場)、香川県(讃岐国・涅槃の道場)と四国全域を時計回りに八十八カ所の霊場(札所(ふだしょ))が設定されています。全ての札所を巡り終えることを結願(けちがん)といい、最初の札所に戻ってお礼参りを行うと円循環が完成する世界でも珍しい回遊型巡礼路が形成されています。多くの人が、もう一つのお礼参りとして高野山を訪れます。

注) 以上の「四国遍路とは」の文章は、近年画期的な進歩を遂げている生成AIにて自動作文し加筆したものです。

## 3. 参拝作法

詳細な説明は省略しますが、札所を参拝する作法は次のように決められています。

- ①入山～山門(仁王門)での挨拶
- ②鐘打ち
- ③手水で身を清める
- ④本堂: 灯明・線香
- ⑤本堂: 納札(おさめふだ)・賽銭
- ⑥本堂: 読経
- ⑦大師堂: 灯明・線香、納札・賽銭、読経
- ⑧納経所で御朱印をいただく



【結願寺 88 番大窪寺山門】

## 4. 出会った人達

今回のお遍路の宿は、宿坊2泊、民宿2泊、旅館1泊、ビジネスホテル5泊、親戚宅1泊でした。宿坊や民宿、旅館に宿泊すると、夕食時に見ず知らずの人達と情報交換や世間話しをすることができます。

悩みを抱えている人、人生をやり直したいと願っている人、敢えて心身の限界を試す人、先祖供養に励んでいる人、ただ単に旅を楽しんでいる人、日本文化を堪能している外国人など、「人生いろいろ」を実感できます。

かく言う私は欲張りの極みで、先祖供養、妻と娘家族の健康、孫娘達の成長、年老いた兄姉の健康回復などを願ってのお遍路でした。

宿坊などで知己を得た人で印象深い人を列記してみます。

- (1) 4月25日 6番安楽寺宿坊: 29歳の広島県男性

3月に仕事を辞めて、歩き遍路の初日。学生時代に全国一周の時、車で札所をスタンプラリーして廻った。今回はしっかりお参りしたいとのこと。



【88 番大窪寺納経 (御朱印)】

(2) 4月26日 民宿山茶花：20代の鳥取県女性

車で徳島県へ来て、格安の駐車場に停めて歩き遍路6日目。最初はビジネスホテルに泊まる方が気楽で良いと思っていたが、民宿に泊まり多くの人と話ができる方がいい経験になる。今は人見知りが出たような気持ちがする。四国病（何度もお遍路したくなること）にかかっているらしいとご本人の弁。

(3) 4月26日 民宿山茶花：ドイツ人男女2人、アメリカ人男性1人

全員歩き遍路。ドイツ人女性は日本名を持っており日本語が堪能。配偶者が日本人。ドイツ人男性は弟。宿のお接待で翌日のお弁当が無料で提供され大変喜んでた。

(4) 4月26日 12番焼山寺～21番太龍寺：26歳の埼玉県男性

バイクで全国一周の旅。この日はほぼ一日私と同じ行動でした。四国に入った時にあるお寺で四国遍路のことを聞き、急遽八十八カ所を廻ることにした。お金がないので、宿には一切泊まらず、道の駅や橋の下でテント泊。風呂も時々入るだけ。この人も3月に仕事を辞めた。

ちなみに、道の駅は全国的に原則野宿禁止ですが、四国はお遍路さんに限り黙認してくれています。



【全国一周のバイク：12番焼山寺駐車場】

(5) 5月2日 民宿青空屋：60代の南房総市（旧富浦町）夫婦

奇遇にも千葉県人と同宿となりました。ご夫婦で2回目の歩き遍路で、今日で44日目。ご主人は元教師で、東金青年の家や八鶴館によく来たことがあるとのこと。話が弾みました。

(6) 5月2日 民宿青空屋：40代の飛騨高山のアメリカ人（帰化し日本人）

シアトル出身で日本に来て27年目。若い時に全国各地の禅宗のお寺で修行したとのこと。

## 5. 印象に残った風景など

今回のお遍路で印象に残った風景などのうち、私の主観で映える（ばえる）写真を掲載します。



【22番平等寺：竹細工曼荼羅】



【29番国分寺：柿葺き（こけらぶき）の本堂】



【42番佛木寺：茅葺きの鐘楼】



【60番横峰寺：霧の中の鐘楼とシャクナゲ】



【74 番甲山寺：花の手水場】



【75 番善通寺：宿坊（旅館並みです）】



【78 番郷照寺：本堂の天井画】



【番外：水資源機構早明浦ダム（再生事業中です）】

## 6. 全国巡礼地の納経帳

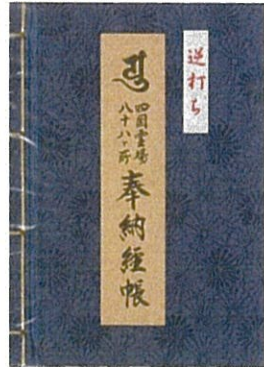
私は納経帳を7冊持っています。

四国八十八カ所以外にも四国別格二十霊場や坂東三十三観音、秩父三十四観音もお参りしました。西国三十三観音と知多四国は少しずつお参りしています。小豆島八十八カ所へも行きたいと思っています。

時間とお金を工面していつの日か満願成就できるよう願っています。



【四国八十八カ所】



【四国八十八カ所逆打ち】



【四国別格二十霊場】



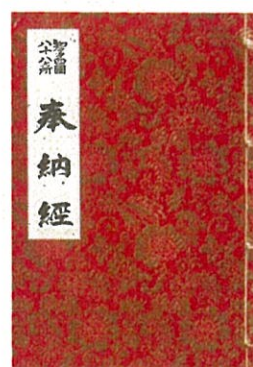
【坂東三十三観音】



【秩父三十四観音】



【西国三十三観音】



【知多四国】

## 7. 終りに

私は香川県出身で87番長尾寺近くの農家の四男坊として生まれました。結願寺の88番大窪寺に行く遍路道近くに生家がありました。亡き両親からは、祖父母が「お接待」に出かけ、梅干しやミカン、柿などをお遍路さんに渡していたと聞いています。紙面の都合で、このお接待文化について紹介できないのが残念です。

また、順打ち・逆打ち、通し打ち・区切り打ち、一国参り、同行二人(どうぎょうににん)などについても説明しなかったのですが、またの機会に致します。

一度は四国八十八カ所お遍路に挑戦したいと考えていらっしゃる方ご一報ください。

何かお役に立てることがあれば幸いです。

## 〈編集後記〉

連日の猛暑で寝不足の上に、パリオリンピックやパラリンピックのテレビ観戦で益々疲労感が漂う今日この頃です。

五輪での日本人選手の活躍はまだ記憶に新しく、金メダル20個をはじめとして銀メダル・銅メダルを合わせて45個のメダル数は海外で開催された五輪では史上最多の獲得数でした。特に、レスリングとフェンシングはマイナースポーツから脱却する良い機会になったと関係競技団体が喜びとのこと。日頃からの地道な選手育成が功を奏したのでしょう。

この夏も地球温暖化の影響による自然災害が私たちの日常生活を脅かしています。

あるところでは線状降水帯の発生による未曾有の豪雨、あるところでは30日間に渡る猛暑日と水不足、熱中症による緊急搬送などが日常茶飯事です。

日傘と小型扇風機、冷水などを携帯し外出したとたん、その日傘がスクール用の雨傘を代用することになります。

「備えあれば憂いなし」や「天災は忘れた頃にやってくる」は既に死語になっている感があります。「備えても備えても憂いあり、天災は毎年のようにやってくる」を肝に銘じ、自然災害への対策は万全のものにしましょう。

会員の高齢化が進み会員数も減少傾向の中、皆様には日頃から当NPO法人に対してご支援ご協力を賜り感謝申し上げますとともに、今後ともよろしくお願い申し上げます。 (isshi 記)

<p><b>ちば水土里支援会報 第33号</b> (発行日 令和6年9月2日)</p> <p>発行：特定非営利活動法人ちば水土里支援パートナー (発行責任者：杉野宏)</p> <p>会員：正会員 108名・19団体 賛助会員 16団体</p> <p>事務局：〒261-0002 千葉県美浜区新港249番地8 千葉県土地改良会館別館</p> <p>Tel 043-241-1755 <a href="http://npochiba.boj.jp/npo">http://npochiba.boj.jp/npo</a></p> <p>銀行口座番号：千葉銀行本店営業部 3908901</p> <p>特定非営利活動法人ちば水土里支援パートナー</p> <p>理事長 杉野 宏</p>
--